

あかるいまち21

冬の特別増資月間 開催中！！

No.1392 2021年3月18日組合員活動推進課 082-532-1264

	3月	2020年度
組合員ふやし	63人	1,378人
出資金ふやし	804万円	15,045万円
純増	▲39万円	3,240万円

小松菜収穫体験 冬から春先までが旬

無農薬だから生食OK。その場でバリバリ！！

3/17日、理事3名を含む組合員6名と職員1名で小松菜収穫体験&月ヶ瀬温泉を楽しんできました。

小松菜収穫は、昨年から安芸太田町のつつみ（小松菜）ハウス」と山下理事のつながりから田方支部有志で始められている活動で、「つつみ」代表の藤村洋輔さんは、野菜作りを通じて地元農家さんとの連携や地域のまちづくりにも力を入れている方です。そんなこともあって、自然豊かな地域で土に触れ収穫する楽しさや爽快感を広く知ってもらおうと、山下理事と藤井で計画した交流企画です。



さて、現地では、小松菜の収穫の他、ハウスのしくみや種まき、水やりなどについて教えていただきました。中でも驚いたのは、ハウス栽培で使用するのは、地下70~100mからくみ出される地下水を利用して、水質検査で見つかった菌はたったの3コ。大腸菌の検出はナシ、ほぼ無菌の本当にきれいな地下水だそうです。

12月中頃に種まきしたものが収穫を迎えています。この時期は虫もつきにくいので、「つつみ」さんでは無農薬で育てています。食べてみると、すすめられるままにその場で頂くと、なんとぱりぱりとした歯ごたえに甘味があり、「水が野菜を育てる」というお言葉に、なるほど納得しました。

収穫の後は車で10分ほど移動して、月ヶ瀬温泉で昼食とお風呂を楽しみ、交流を深めました。小規模農家さんの苦悩、里山と山林の荒廃の現実、食に対する日本人の価値観の変化など、いろいろな話題で交流しました。どれも、一人の力では解決できないような大きな問題ですが、一人一人が意識を変え、力を合わせて取り組むべき問題でした。SDGsの取り組みにもつながる大変有意義な交流となりました。



学びの中に「わらい」あり～田方支部サロン～



3/17 田方集会所にてサロンが開催されました。今回のお題は安産亭徳丸師匠をお迎えして「全世代型社会保障改革」を漫談を交えながら語って頂きました。中身の話は難しい内容なのですが、師匠が「高齢者医療負担2割化の問題」は今だけの問題ではなく後世にも反映されていく事を「消費税導入」時を引き合いに出しお話しされました。（確かに、医療・教育・福祉に税金を当てますと云われていましたが、実際は…。）組合員、支部運営委員、職員合わせて21名の参加となりました。その後、来期に向けた「サロン」の企画会議に参加された方々とおこないました。

その後、来期に向けた「サロン」の企画会議に参加された方々とおこないました。